

介護関係者各位

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け介護関係者への『緊急メッセージ』

令和2年11月25日
一般社団法人全国介護事業者連盟
理事長 齊藤正行

介護関係者の皆様方には、年初より継続して新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、多大なるご苦労と心労の中で日々介護事業所運営にご尽力頂いていることに改めて敬意を表します。

そのような中で冬場を迎え、感染拡大が全国的に生じている状況にあり、新規感染者数と重症者数ともに緊急事態宣言時を上回る数字となっています。このような状況を踏まえて当連盟より改めて介護関係者に『緊急メッセージ』をお伝えさせていただきます。

緊急事態宣言が解除された後に新規感染者数はいったん安定し、政府も「感染拡大防止」と「経済対策」の両立を実現すべく様々な対策を講じてきました。第一波以降、我々もこの未知なるウイルスに対する一定の情報を得ることができ、「3密」の回避や「新しい生活様式」の実践によって感染拡大防止が図れること、治療の在り方についても一定の方針が確立されており、これらの備えを行った上で、経済活動を再開することは我々も必要であると考えています。しかしながら、コロナ禍の長期化とともに、世の中全体の緊張感が失われ、適切な感染対策を取らずに行動する方々も増えているように感じます。

このウイルスは、基礎疾患のある方と高齢な方ほど重症化リスクが高いことは周知の事実であり、介護関係者の皆様方におかれましては、引き続き細心の注意を払う必要があることから、今は、緊急事態宣言時と同様かそれ以上の警戒レベルをもって日々の行動と介護の仕事にあたって頂きたいと思いをとりわけ、感染拡大防止に向けた最重要課題はクラスター対策であり、昨今、高齢者施設でのクラスターが全国で多数発生しています。11月20日には厚生労働省より「クラスターの早期探知・早期介入のための取組みについて（周知）」が発出されており、当連盟のホームページ上にも掲載致しておりますので、介護関係者の皆様方は必ず全て熟読し、指針に沿った行動を徹底してください。

合わせて、当連盟では、欧米諸国と比べて、圧倒的に高齢者施設での死者数の少ない我が国の介護現場の努力にスポットライトを当てて頂き、医療崩壊を防ぐ前段階で介護現場の果たしている大きな役割を評価して頂けるよう令和3年度介護報酬プラス改定の実現と、追加的な介護に対するコロナ支援対策を政府に対し、継続して訴えていくことを介護関係者の皆様方に改めてお約束致します。

以上